

第211回 フリエール公演

2024年6月

「銀色のライセンス」

感想文集

NPO法人 ふなばし演劇鑑賞会

ふなばし演劇観賞会さん江
2024年6月(2日(水)~14日(金))

高野 卓子♡



銀色の
ライセンス

中野 美穂



中野 美穂



落語から入ったのがおもしろい作りですネ。引き込まれて聞き入り、死神がどのようにつながっていくのかと楽しく拝見しました。長く生きることは、その分多くの喜びや悲しみ、痛みに出会うことですね。そして年を重ねて豊かになり、前を向けること、まわりの人に優しくされる、そう思えました。

(宙 石橋須美江 60代)

はじめは、落語の「死神」とどんな関係があるかと思っていた。私は高齢者講習を昨年受講したので、受講者の心理は良くわかった。物語としては単調に見えた。しかし、昔の教官(軍曹)の登場で死神とつながり、一気におもしろくなった。いいかげんな言動でお茶を濁してはダメになる。言うべきことはしっかり言うことが大切だ。よい作品でした。

(ハッピープリンス 春日井治 70代)

怖くて、でもくすつと笑える場面もたくさんあり、最後は亡くなった祖母のことを思い出してうるつとし、感情が幅広くゆずられました。とつても楽しい時間でした。ありがとうございました。

(フージーと元気な仲間たち

西山麻弥 40代)

私は80才です。16才で免許を取得して一日50kmを走り、貿易の仕事をしていました。当時は免許の意味は重く感じませんでした。行年の人生の重さに関係してくるといふ免許のある一面の意味を感じた舞台でした。

(ななくさ 糟谷陽子)

私も後期高齢者になり教習所へ行き、認知症の検査やら実技や色々やりました事、懐かしく思い出しました。今、家族の更新反対に負けて、残念ながら返納しましたが、やっぱり寄る年波には勝てず、連日の事故のニュースに心を痛めて、自分もいつ加害者になるかもと家族の反対を受け入れて正しかったと思うようにしています。今は電動自転車ですイイと風を切つて楽しんでいます。

(白さぎ 伊藤 80代 女)

起伏の少ないストーリー、現代の日常をさりげなく描いた様な家庭劇、安易に笑いを取るでもなく、深刻な苦悩をぶつけるでもないのに、よく見れば極めて奥深い、示唆に富んだ難解な芝居であった。銀色とは黄金でもなく、濃緑でもなく、やや落ち着きを帯びた色合いで、すなわち人生の後半の彩りを表すものであろう。又、ライセンスとはそこを生きる数々の智慧を表すのではなからうか?劇中では半分ボケたとされる母親の生き方がそれである。又それは村田、大杉、菊川の様な生き方を肯定的に描くことでも主張されているように思う。

(じやんけん 糠澤尚夫 80代)

高齢者の免許のことについて、考えさせられました。

(紙ふうせん 森田 70代 女)

芝居は私たちの年齢に大変、ためになりました。

(昴 沼田幸子 80代)

こういう身近な問題を、こういう形でお芝居にできるんだとその着眼点になる程と思ひ、舞台の使い方も面白いと感じました。特に最初に赤い布で覆われた高座が目に入った時は、落語や講談を聞きに、本物の寄席に行つてみたくなりました。

実は我が家の夫も今年78才になり、免許の更新ができるか危ぶんでいました。というのも、認知機能のテストがあるのに、近年とみに記憶力の衰えがめだつてきたからです。友人からの情報で、インターネット上にそのテスト情報があり、更にテキストも出版されている事がわかりました。夫はそのテキストを買い求め、この何年かで一番勉強したのではないかと思われ程、がんばつて覚え、何とかテストをクリアして免許を更新できました。通院や近所のお出かけに車を使つているので、ほつとしましたが、認知機能が衰えてきたり、勘違いが増えている事は否めません。

でもこの劇の高齢女性の様に、車を運転する事で家族に感謝されて自信を持つたり、操作で頭を使つている面もあります。どうしたらいいか悩む所ですが、あと何年かは暗くなつたら運転しない、遠出をしないなどに気をつけながら、もう少し銀色のライセンスを有効に使う予定です。その間、死神さん、どうぞ近づかないで下さいね。

我が家の事情ばかり書きましたが、最後に鬼軍曹だった中西さん、少し耳が遠くなつてもジーパンが似合つてかつこ良かったです。

(その場しのぎ 加藤みどり 70代)

芝居も出来る落語家古今亭菊志んさん、落語も聴けて得した気分です。運転免許を持つていない俳優さんが、運転の演技をする苦労話をアフタートークでお聞きしたのが面白かった。

運転免許は役割があること、自分が価値ある人間だという証し、生きがいにつながるということ、同時に人の命にかかわる技術の有無を証明するものでもあるというテーマ、受け取りました。低音の弦の音が重く、厳しかったです。

(フェローシップ 谷千和子 70代)

『銀色のライセンス』、中西良太さん、竹内都さんが出演と知り、テレビでお顔は知つておりましたので、親しみを持って拝見しました。それと、内容が我が身にいつ起つても不思議ではない認知症の話、村田貴和子役の倉野さんの動きを観ておりました。役を演じるにあたり、色々勉強なさつた事でしよう。ハンドルを持つた時の目の表情、細かいところ迄みているのだと関心を持つて、そして笑いを持つて認知の方に接する事を学びました。

舞台上で落語が聞けるなんて、とても良い思ひつきだと思ひます。子育て時代、子供のお友達親子と新宿、上野の寄席に落語を聞きに行つた事を思い出しました。「死神」を聞き寄席に行きたくなりました。(ヤゴの会 後藤幸子 80代)

落語から始まり、お話が進んでいく、新鮮でした。免許を持つている身として、高齢になつた身として、心にしみることばかりでした。気を引き締めて運転していきます。

(あめふりくまのこ 伊藤久子 60代)

後期高齢者の仲間入りして、一時不
停止も経験しており、身につまされる思
いをしながらも楽しく観させていただき
ました。始めに落語をした方が教官役だ
つたとは。最後のあいさつでわかりびつ
りしました。返納をいつにするか考えな
がら、これからももう少し気をつけなが
ら運転して行きたいと思えます。役者の皆
さん、本当にすばらしかったです。

(ふじわら 3 小栗山 70代 女)

とても面白かった。スリルのような感覚
もあってよかった。楽しい。もう一度観た
い。

(小畑貢 70代)

一人一人のセリフが聞きとりやすく、
構成も面白く楽しめました。みやちゃん
上手だなと改めて思いました。

(ハイネ 中川奈津子 60代)

いつもと感じの異なるお芝居で、とて
も新鮮な感じがしました。とても良かつ
たです。

(あせび 無記名 80代)

身につまされながら観ました。でもと
ても楽しく元気が出ました。ありがと
う！

(3We 林悦子 70代)

免許更新する中で、高齢者の気持ち
が良く分かりました。私たちがながいし
ろにしてはいけない大事なことが語られ
ていました。

(テラ 植松礼子 70代)

初めて参加しました。とても楽しかつ
たです。私も高齢者で運転しているので身
につまされました。

(昴 黒田洋子 80代)

出演者が少なく、舞台設定が分かり
やすかった。運転者にとつては大切なこ
と、分かりやすく必要なことだと思つた。

(昴 田原 80代 女)

考えさせられることも多い作品でし
たが、笑うこともできました。

(テラ 高田眞理子 60代)

最近、高齢者の交通事故が多発して
いるので、免許返納について考えさせら
れます。

(昴 才原 80代 女)

運転がとても上手でリアルでした。誰
でもが経験すること、身に沁みました。

(テラ 山西愛子 70代)

久しぶりに面白いお芝居拝見致しま
して、感激しました。90才としては身に
つまされつつ、ローソクの火が消えるまで
頑張ろうと元気を頂きました。信州へも
自信を持つてお出かけ下さいませ。皆さ
んに元気をあげて下さい。これからも良
いお芝居を作り続けて下さいね。今日は
ありがとうございました。

(無記名 90代 女)

最近免許を更新したばかりなので、と
ても皆さんの気持ちが良く分かりまし
た。とても楽しく、身につまされました。

(昴 彦坂和子 70代)

毎回演劇の会を楽しみにしています。

今回の『銀色のライセンス』観てからのお
楽しみ。車社会への問いかけ！

(ハッピープリンス 田中弘之 60代)

急用ができて最初の20分が観られな
かったが、内容はよくわかり、ほのぼの
とした。自分も将来、運転どうしようかな
と考えていて、免許更新あと何回?!
新車買うのもラスト?! 人生の重要なテ
ーマですねえ。ありがとうございました。

(ラ・シーク 60代 女)

落語からのお芝居、とても新鮮でした。
お芝居の中での死神の意味が少しわかり
づらかったですが、とても楽しかったです。
教習中の皆さんの動きが、本当に車に
乗っているようでした。

(あめふりくまのこ 60代 女)

年は取りたくない…とつぶやいたお母
さんの心情も、家族の運転手でいたいと
いう思いもよくわかります。人はそれぞ
れ培ってきた過去の上で生きていて、み
んなそれぞれ尊い。ろうそくの長さも太
さもそれぞれだけど、私も自分の“生”
を楽しく自分らしく生きたいと思いが
ら観ていました。ありがとうございました!!

(亜童夢 伊澤輝美 70代)

今の高齢社会の日常起きている(又は
体験)ことがテーマだったので、わかりや
すかった。本物の「落語」と演劇が一緒
に楽しめた。なお、若手の高畑こと美さん
の演技が印象に残りました。

(宙 田口誠雄 80代)

自分の年代の高齢者が運転しているの
で、まるで自分の事のように感じました
が、楽しく自分らしく今後もやっていき
たくなりました。(昴 米山奉子 80代)

気味の悪い落語「死神」から始まったの
で、どんな展開になるのかと、介護の問
題にも関わっていたので、気持ちの良い終
わり方になるのかドキドキ、少し不安な
気持ちもありましたが…。途中で少し
出てくる死神が不気味でしたが、お母さ
んが運転したい気持ち、娘がお母さん
を思う気持ち、歳を取ることに不安や周
りの対応、現代のいろんな問題を取り込
みながらも、とてもすてきにまとまって
いて、良いお芝居でした。介護の仕事
をしていて、親も年を取ってきているので、
考えさせられる場面もありましたが、
とにかく良かったです。母や義父の気持
ちを考えて優しく接したいと思いました。

(ザツハトルテ 上野 50代 女)

免許更新の教習所の責任を追求して
いる面白い指摘のドラマでした。死と隣
り合わせの運転です。心してハンドルを
持つてほしいです。(昴 白崎節子 80代)

運転することは「命を預かること」とい
うことが身に沁みました。もう少し運転
したいので、気をつけていきたいと思
いました。(マリーズ 菊地 70代 女)

今日のお芝居の中で免許更新の様子
がよくわかりました。次々と家庭での
“お母さん”の状況がわかり、見る立場
(方向)によつてこんなに違うものかと驚
くと共にお芝居に感動しました。

(KISS3 弘重三枝子 60代)



高校生の感想文

今日のお芝居は今までとは一味違ったお芝居で、とても見て面白かったです。最初の落語のシーンで出てきた落語家の役の方が死神と男のかけ合いを1人2役で演じ分けていたのが凄く思いました。その後も死神が急に出て来て怖かったです。さすが、とても面白かったです。

高齢者教習に来た人に何回もトイレに行くことを勧めているシーンを見て、「自分の周りでもこういうのあるな」と思い、笑いながら観ていました。1つのステージが場面に合わせて様々な背景に切り替わるのがすごいと思いました。最初、お母さん(貴和子さん)が運転免許を持つことに反対していた娘の夏菜子さんが、お母さんを応援してあげられるようになって良かったなと思いました。最後に東郷さんの短くなつたらうそくが1本灯っている所で鳥肌が立ちました。その後、東郷さんはどうなってしまったのか続きがとても気になりました。

(鍛冶屋ひな 2年生)



最初落語から始まったのが結構斬新だなんて思いました。照明とか舞台背景の使い方も今までにないような感じがして、見てすごい面白いなと思いました。バラエティー性があったり、怖い要素など色んな要素が盛り沢山になって、飽きずに見ることができたので楽しかったです。日常的な情景の音等も正確に表現して、それのおかげで雰囲気とかも一瞬で変わったりしたので、演技とか機材の使い方も圧巻だったので良かったです。

役者さんの会話のテンポとか掛け合いが丁度良いリズムだったので良かったなと思って思わずと笑っていられました。(笑)車の講習の話ではあったけど、親子愛が感じられたり、頑張ることの大切さ等もいっぱい感じ取れたので良かったです。起承転結が今まで観てきた劇の中で用いられる感じがしたのでとても良いなと思いました。何回か劇を観に行ったことがあるのですが、今回のが個人的に一番良かったです!! (新井菜々美 2年生)



おめでとうございます!

「銀色のライセンス」サイン色紙当選者

- 1811 フージーと元気な仲間たち 西山麻弥さん
- 1903 ふじわら3 小栗山敬子さん
- 2111 ななくさ 糟谷陽子さん

※当選した方は申し出てください。

当日会員数	1,861名	
例会参加者	1,566名	(参加率 84.1%)
アンケート枚数	35枚	(回収率 2.2%)